



岩東進路指導部だより
第3号 2024. 6. 17
文責 進路指導部長木村

昼休みや放課後、校内の至る所で学校祭関係の集まりや練習風景が少しずつ見られるようになり、にわかに学校祭ムードが高まってきたのを、進路指導室からも感じています。この校舎で行われる最後の学校祭ですから、全員で協力して、思い出に残る素晴らしい行事にしたいと思っています。

さて、話は変わりますが、皆さんは、吉田松陰^{よしだしやういん}って知っていますか？江戸時代の終わり頃の藩士で、思想家、教育者としても知られています。松下村塾（しょうかそんじゅく）という私塾で、のちの内閣総理大臣である伊藤博文や山縣有朋らを指導し、明治維新に多大なる影響を与えた人物です。今でも多くの著名人、会社経営者などの中には、彼を師と仰ぎ、その教えを日々実践に役立てている人も多いと聞きます。その吉田松陰が塾生に語った教え（名言）の一つが、今回のタイトルです。

「**学問の大禁忌(だいきんき)は作輟(さくてつ)ない**」と読みます。この意味は…

学問を修めるうえで、絶対にやってはならないことは、 やったいやらなかったりするることだ

誰にでも当てはまることがあると思います。とかく人間は弱い生き物で、〇〇をやろう！と決意しても、今日は体調が悪いから、いつもより忙しかったから、昨日はいつもの倍頑張ったから、何となく気分が乗らないから、天気が悪いから、占いでリフレッシュするのが一番だっていうから…etc と、いろいろな理由をつけてサボってしまいます。

これから3週間ほど、学校祭準備期間が徐々に本格化しますね。特に3年生にとっては、最後の学校祭ですから、当然クラス、学年、学校全体で団結して取り組むことが一番大切です。でも、受験生ですからね。毎日欠かさず行う最低限の受験勉強…つまり、

どんなに時間が無くても、これだけは絶対にやる！

という内容を決めて、それをひたすら継続してください。

…とは言ってもなあ、何をやっても三日坊主で…という者もいるのではないのでしょうか？

継続できない最大の理由は何だと思いますか？

私が思うに、それは**続ける仕組みの作り方が悪い**のだと考えます。

例えば、私は毎朝3kmほどジョギングしているのですが、ウェア、シューズは常に準備してあり、起きたらすぐに走ることができるようにしてあります。また、走り出す時間もルートも決まっており、家を出たら戻るまで、全てが自動的に行えるようにしています。

勉強も同じです。「よし、英単語覚えよう！」と思ったのに、あれ？「単語帳がない」「お気に入り

りのシャーペンがない」…と言って探している間に、別のことが気になって結局サボってしまう…こんな経験あるでしょう？それを避けるには、とにかく、やる！と決めたら、

決まった場所に、決まったものを置き、 決まった時間に、決まったことができる

仕組みを作るのです。

他にも、クラス LINE など、「今日は数学の問題を〇〇までやる！」と宣言するのもいいかもしれません。それに対して「がんばれ〜！」とか返信されたら、やらないわけにいかないでしょう？こうやって、あれこれ工夫して継続できる仕組みを作ったら、あとは強い意思あるのみ。それでも続けられない…って言うのなら、そもそも自分の本心から改善しようと思っていないということですよ。

進路資料



近々配布される、“進路資料”と書かれた黄色い冊子。岩東卒業生過去5年分の大学合格者数などの超重要な進路データが載っています。これを見ると、先輩たちがどのような学校に進学したのかがわかるのですが、実は重要なのはそこではなく、合格した先輩が、成績がどれくらいだったか、模試でこの時期にどれくらいできていたか、などの貴重なデータが岩東に蓄積されているということなのです。この意味がわかりますか？また後半には“わが受験の記”として、この3月に卒業した先輩たちの合格体験記が載っています。自分たちが、志望校に合格するまでの日々の生活、学習習慣、オススめの問題集などが、皆さんへの熱いメッセージと共に綴られています。どれも参考になることばかり…。是非とも全部に目を通して、参考になるところにメモや付箋を貼るなどして活用してください。

7/13 は岩東模試の日

学校祭明け、7/13(土)は全学年模擬試験となります。

大学受験は

高校受験と違って**全国大会**…日本全国の高校生と争うことになりますから、模試のたびに自分の学力レベルを知ることは大変重要になります。

今回の記述模試は、1年生は高校に入学して初めての全国模試になりますし、多くの3年生にとっても半年ぶりの記述模試です。単に点数や偏差値、順位や志望校の判定だけに着目するのではなく、自分の弱点や得意な分野を確認したり、自分なりの模試の受験の仕方を考えたり、答案返却されたらもう1度解き直すなど、模試をフルに活用してください。